

令和3年8月2日

富山インターハイ
参加高校顧問・監督 各位

(公財) 全国高体連空手道専門部
部長 近藤 彰郎

富山インターハイまでの活動について

連日の猛暑の中、富山インターハイに参加されます皆様方におかれましては、2年ぶりのインターハイに向けて、日々の練習を充実されていることに敬意を表します。

そのような中、新型コロナウイルス感染の猛威が止まりません。特に変異株は若年層への罹患率が高くインターハイ開催に向け心配な点が多々あります。

先日、空手道の大会でクラスターがあり、多くの陽性者・濃厚接触者（高校生を多数含む）が認定されたという報告が事務局にありました。

保健所からの指示によって今後の対応が決まるとのことですが、インターハイまでの期間に出場選手等に感染者や濃厚接触者に認定される生徒が発生した場合は、該当顧問から都道府県委員長（県の委員長は地区の委員長へ連絡する）と全国高体連空手道専門部事務局並びに開催地実行委員会（所定の様式を使用）に報告をお願い致します。

また、今一度日々の活動の見直しをお願い致します。毎日の体温測定、手指消毒の徹底、日常生活や練習中のマスク着用、マットや感染リスクのある場所の消毒など。

練習時間短縮を含む練習内容の見直しなどもお願いします。

合わせて、熱中症対策についても是非、お願い致します。

さらに、練習試合・遠征・合宿等についても各都道府県等で指針は出ていると思いますが、自粛も視野に入れて再度検討をよろしくお願い致します。

全国高体連空手道専門部と富山県実行委員会は、参加される皆様の健康と安全を一番に考え、さらに2年ぶりに実施されるインターハイが成功するように一生懸命に取り組んでおります。

最高のパフォーマンスを発揮できますよう、互いに努力と協力をしていきましょう。